



国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク (NOR)

“Waking the Sleeping Giant with Blue Music”

アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン (YHIA)

“Awaking the Asia Pacific with Blue Music”

東日本区理事 山下 真 (十勝C) 「挑戦なくして進化なし」～響け 挑戦の Blue Music～

かながわ部長 佐藤 節子 (厚木C) “一緒にワイズの未来を輝かせましょう”～今を大切に、常に前進～

クラブ会長 今城 高之 “あなたの『やりたい!』が誰かの笑顔に”～楽しくなければワイズじゃない～

今月の聖句

だれでも、求める者は受け、
探すものは見つけ、
門をたたく者には開かれる。

(マタイによる福音書第7章 8節)

《巻頭メッセージ》「80歳から創めるキリスト教」を読んで

鈴木 恭子

私は毎週教会に行き、礼拝を守ることができ感謝しています。

私が初めて教会に行き始めたのは、戦争で疎開していた父の実家の近くにある日本基督教団「松本教会」で、小学校4年生の頃でした。

両親は松本教会で礼拝を守り、私は礼拝前の日曜学校に通っていました。戦争も終わり、少し落ち着いた頃でしたので、クリスマスには教会学校の先生方が身体に白いシーツをまいたマリア様になって登場するページェントや、イースターには教会の庭に隠された色付きのゆで卵探しをしたことなどが、楽しい思い出として残っています。

その後、父の転勤で名古屋に移り住み、短大2年生の時洗礼を受けました。結婚後も、夫と共に教会へ通う生活が続けることができ、感謝しています。しかし私は、聖書を通読したこともありません。聖書を通読しようと思い、創世記から何度も読み始めるのですがすぐ挫折してしまいます。

そんな私に最近、「80歳から創めるキリスト教」(上林順一郎著)という本を夫がプレゼントしてくれました。著者の履歴を見て、年齢が私とほとんど同じであることや、田園都筑教会の相賀 昇前牧師が、早稲田教会時代に洗礼を受けた牧師であることを夫から知らされ、うれしくなりました。

本を開くとはじめに「青春とは人生のある期間ではなく心の持ち方を言う」とウルマンの「青春」の一節が書かれています。そして信仰にとって大切なことは、80歳代になっても青春時代の心の持ち方をもって、聖書から学ぶことだと続きます。また、議論ではなく、聖書のみ言葉を聞き聖餐にあずかることが大切であり、そこから私たちは復活の信仰へと導かれ、そこにキリストイエスが共にいてくださる喜びが生まれると、説かれています。その喜びが、キリスト教の真髄です。この本の副題に「よく生き、よく老い、よく学ぶ」と書かれていますが、80歳代半ばを迎えた私は、この本に書かれているような信仰生活を創めることができればと願っています。

以上

9の本例会

日時 9月25日(金) 17:15～

場所 かけはし都筑

(センター南駅最寄り)

司会 鈴木 茂 受付 辻 剛

《議事》

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条唱和
3. 今月の聖句・祈祷 担当主事
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 検討事項・行事予定
6. 卓話

講師：小林 保さん

演題：「キリスト者としてのゴッホ」

～南仏編

7. 報告事項
8. Happy Birthday
森山真治さん(9/27)
9. アピール他

10. 閉会点鐘 会長

※終了後、近くで会食懇親会を開催しますのでご参加ください。

2026 - 27年度クラブ役員

会長 今城 高之
副会長 鈴木 茂
書記 今城 宏子
会計 鈴木 恭子
直前会長 坂口 直樹
監事 辻 剛

(8月実績)

例会出席	14名	在籍会員数	16名
メンバー	11名	月間出席者数	11名
ビジター	—	メンバー	1名
ゲスト	3名	月間出席率	75%

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《第38回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)参加報告》

鈴木 茂 記

- **日時:** 2026年9月4日(金)～6日(日)
- **場所:** 高尾の森わくわくビレッジ(東京都八王子市)
- **趣旨:** ワイズメンズクラブ東日本区の資金提供により、都市YMCAの若手ボランティアリーダー(経験2～3年)の育成・交流促進を目的とする研修を実施。

(担当:とちぎYMCA)

- **参加者:** ボランティアリーダー約30名(主として大学生)、ワイズメンズクラブ延べ25名程度(当クラブからは今城T、坂口、鈴木Sが参加)

～主な内容と講演～

今年度は『『違い』とは何か、『共に生きる』とは何か』をテーマに実施されました。

1)ウクライナ報告&ゲストスピーチ1

- **報告:** 横山由利亚 氏(日本YMCA同盟)によるウクライナ視察報告。
- **スピーチ:** カミシャン・ダニエル 氏(ウクライナ避難民・20歳)
- 来日後の日本語学習やアルバイト活動、事故による大けが、SNSでの中傷といった苦労や、将来への思いを立派な日本語で語った。

2)ゲストスピーチ2

- **スピーチ:** 斎藤勇弥 氏・夫人(ぐんまYMCA 社会人リーダー)

- 脊髄小脳変性症による肢体・言語障害を抱えつつも、夫人の支えを得て社会人リーダーとして奉仕する難しさと覚悟について語った。

3)ゲストスピーチ3

- **スピーチ:** 白 聖照(ハクセイショウ) 氏(横浜市役所勤務)
- 15歳で来日した経験を持ち、現在は市役所勤務のかたわら海外ルーツの子どもたちへ学習支援を行う中で、多様な人々が混じり合う共生社会の実現を訴えた。

4)基調講演

- **講師:** 金 迅野(キム・シンヤ) 牧師(在日大韓基督教会 横須賀教会牧師 / 立教大学特任准教授)
- **演題:** 「分断をのりこえてー『多文化』/『多現実』なわれわれをつむぐ」
- **内容:** 「多文化共生」や「人が共に生きる意義」について、違いを越えて出会い、痛みを分かち合い支え合うことの大切さを説いた。

総括

各ゲストスピーカーの体験談および金牧師の基調講演は大変示唆に富んでおり、参加したユースリーダーたちに深い感銘を与える研修となりました。(完)



㊤上: 参加した各地のリーダー、スタッフたちは元気いっぱいでした。ここで学んだこと、この場でできた新しい交わりを生かしてほしいものです。

㊤下: 参加したワイズ東日本区の面々の一部。

㊤上: 横浜YMCAのリーダー、スタッフとかながわ部参加ワイズたち。



"To acknowledge the duty that accompanies every right"

《参加報告》 第33回AIDS文化フォーラムin YOKOHAMA

鈴木 茂 記

日時：2026年8月7日（金）～9日（日）

10:00-17:30

会場：かながわ県民センター

主催：AIDS文化フォーラムin 横浜 組織委員会（事務局：横浜YMCA）

共催：神奈川県

横浜YMCAが事務局を務める“AIDS文化フォーラムin YOKOHAMA”が今年は、さる8月7日～9日に「かながわ県民センター」で開催され、初日の午前中だけでしたが参加しました。このAIDS文化フォーラムは、1994年に横浜で「第10回エイズ国際会議」が開催されたことを契機に、国際会議に並行して草の根の市民版エイズフォーラムを開催しようと、多くのボランティア、NGO、専門家たちが立ち上げたものです。そこでは専門家による講演のほか、エイズ感染者による報告やパネルディスカッションなどが行われてきました。

なぜ“AIDS文化フォーラム”なのか。それは、AIDSを医療や福祉の問題だけでなく、HIV感染者やAIDS患者を病気と共に生きる人間としてとらえること、そしてすべての人間がHIV/AIDSに関わりを持ちながら、日常生活や社会活動に携わっているという側面を再認識したい、という考え方に基づいています。

今年の最初のプログラム「基調講演」では、広島大学医学部で40年の長い間AIDSの治療に当たってこられた高田昇医師のお話がありました。AIDSに対する理解、認識が十分ではなかった上に、治療薬も開発されていなかった時代のご苦労と、現在に至る経緯をさまざまな事例を紹介しながらお話しされ、示唆に富む講演でありました。

なおこの後、筆者は参加できませんでしたが、プログラムによると、8月7日（金）の午後は各分科会等に分かれて、「神さまがくれたHIV」、「お坊さんが行う性教育授業」等の報告・ディスカッションが行われました。翌8月8日（土）は、東京都助産師会・いのちの教育委員会による「助産師が実践する包括的性教育」の講演やドキュメンタリー映画「じぶん・まる！ いっぱいはなし」の上映がありました。最終日8月9日（日）には、「子どもの自死を、私たちはどう受け止めるか」と題するパネルディスカッションや、横浜YMCAによる「ジェンダー目線の公告観察（性感染予防啓発公告や痴漢・窃盗防止広報を通して、表現の公共性について考える）」と題する発表、報告がありました。

AIDS文化フォーラムは来年以降も開催されます。私たちがAIDS/HIVに関して正しい理解を持つためにも、ぜひ一度はこのフォーラムに参加されることをお勧め致します。

以上

かながわ部納涼会 8月27日に開催された第2回目となるかながわ部合同納涼会には、クラブより鈴木さん、坂口さん、今城Tの三名が参加して、部の仲間と良き交わりの時を持つことができました。



㊥全体で40数名、佐竹横浜YMCA総主事、山下東日本区理事、榎本東日本区書記も参加して楽しいひと時を過ごしました。楽しくなければワイズじゃない！を実現した夕べでした。㊥乾杯の音頭は、もちろん我らが鈴木茂さん。かながわ部最長老の加藤さんが体調を崩しておられる昨今、乾杯の音頭は専ら鈴木さんの専任となっています。㊥各部代表によるカラオケ大会には、今城会長が恥を忍んで出演、なんと、「タイガー & ドラゴン」（クレイジーケンバンド）を熱唱。残念ながら受賞には至らず！

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

横浜YMCAでは、経済的な理由でYMCAのプログラムに参加したくても参加できない子ども達を支援するため、『BAPY基金』を設置しています。BAPYとは、“Be A Partner of the Youth”の頭文字をとったもので「子どもたちのパートナーになろう」という意味が込められています。この基金は、YMCAのプログラムに参加するための費用の一部、または全額を補助する制度です。

この夏休みには、18名の子ども達が基金を使用してプログラムに参加をしました。

保護者の皆様からは、以下のような感想が寄せられました。

・キャンプで出会ったお友達と「また、会おう」と約束を交わしたことや、帰宅後も現地で学んだことを生き生きと話す姿を見て、かけがえのない経験が大きな成長の糧になったと感じました。

・シュノーケリングでエビを見つけたこと、テントに落ちる雨音を聞きながら眠ったこと、お友達やリーダーと励まし合いながらウォークラリーを行ったことなど、何事にも挑戦して楽しむ姿勢が自信につながったようです。

BAPY基金は、会員の皆様や企業の皆様からの寄付で運用されています。皆様からいただいた大切な募金のおかげで、今年の夏休みも多くの子ども達が楽しくプログラムに参加し、多様な経験を通して、成長することができました。心より感謝申し上げますとともに、今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

横浜YMCA BAPY基金 ホームページ

https://www.yokohamaymca.org/ymca_fund/bapy/



《『YMI World』9月号 より》

「強く成長し、より遠くへ」

9月号は、**クラブの拡大・会員増強・会員維持**をテーマにしています。9月1日から12月9日までの「100日会員増強キャンペーン」では、新会員への声かけ、元会員の復帰、既存会員との絆の強化、新クラブ設立などが呼びかけられています。

国際会長Johan Vilhelm Eltvik氏の「**Blue Music**」の理念に基づき、成長は単なる会員数の増加ではなく、**互いに尊重し、つながりを感じ、楽しく参加できるクラブづくり**から生まれると強調しています。

また、インド・ケーララ州の「Y's Men Village」など、**友情と協力を具体的な奉仕活動につなげた実践例**も紹介されています。

そのほか、会員増強・定着のガイド、新しいEMC資料、チェ

ンマイのグッドプラクティス、各エリアの活動、人道支援、**IC 2026・IYC 2026（ペナン）**の最終案内などを掲載。

9月は「外へは新しい仲間を迎え、内にはクラブの絆を深める」時期。友情・目的・奉仕を大切に、持続的に成長するクラブを目指そう、というメッセージです。



ワイズメンズクラブ 国際協会
会長 ヨハン・ヴィルヘルム
・エルトヴィク氏

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《集会報告》

例会・運営委員会・納涼会

今城高之 記

日時: 2026年8月21日(金) 17:15～

場所: 夢Café

司会: 今城宏子 / 受付・記録: 今城高之

※当日は終了後に「You & I コンサート運営委員会」および「クラブ納涼会」を開催するため、通常より時間を繰り上げて短縮開催した。

～プログラム～

I. 本例会 (17:15～)

出席者: 今城H・T、エスキルドセン、坂口、鮫嶋、鈴木K・S、辻T・Ts、三木、森山 (敬称略)

1. 開会点鐘 (会長)

2. 今月の聖句と祈祷 (森山担当主事)

「思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたの方のことを心に掛けてくださるからです。」

(ペテロの手紙 I 5章7節)

3. 協議・報告事項 他

● You & I コンサート準備進捗状況

①案内チラシの完成に伴い、メンバーへ配布。

②今後の広報活動の進め方等について意見交換を実施。

● 今後の行事予定等

・8/7～9: AIDS文化フォーラム @神奈川県民センター (★出席者募集中)

・8/27: かながわ部合同納涼会 (参加予定: 鈴木S、坂口、今城T)

・9/1: 第111回 Y-Y's協議会 (参加予定: 今城T、鈴木S、坂口)

・9/4～6: 第38回 YVLF @八王子 (参加予定: 鈴木S、坂口、今城T)

・9/8: クラブ事務例会 @夢Café

・9/25: 本例会 @かけはし都筑 (卓話: 「ゴッホ物語 (仮題)」講師: 田園江田教会員 小林保氏)

・10/11: かながわ部大会 @湘南とつかYMCA (※参加者募集中)

● Happy Birthday

辻剛氏 (8/30)

● 閉会点鐘 (会長)

II. You & I コンサート運営委員会

(18:00～18:45)

● 出席: 中村 (みんなの家)、ロブ (アーモンドコミュニティ)、森山 (YMCA)、坂口・今城T (つづ

きクラブ)、佐藤 (合奏団)

欠席: えだ福祉ホーム、アスタPC

議事・報告事項

1) 後援・支援金の決定

横浜市教育委員会、都筑区、都筑区社会福祉協議会の後援が最終決定。

2) 横浜YMCAおよび都筑区社会福祉協議会からの支援金交付が決定。

3) 運営委員長の選任

つづきクラブ今期会長の今城高之を運営委員長に選任。

4) チケット種別および価格の設定

・一般券: 1,000円

・500円券 ペア券 (障がい者+付き添い者)

中高生 (小学生以下は無料)

5) 広報・チラシ配布方針

・チラシ3,500枚を制作。メンバーおよび近隣施設 (ケアプラザ、地区センター等) へ配布。

・1,500～2,000枚程度を廣田新聞によるポスティングにて配布。各種メディアを活用して周知を図る。

6) 当日運営・ボランティア等

・当日の役割分担・詳細な段取りは後日決定してメンバーへ周知。

・当日のボランティア集合時間を「11:00」に決定。

III. つづきクラブ納涼会 (18:45～)

● 概要: クラブメンバーおよびコンサート関係者による懇親・交流会を開催。

● 会費: 1,500円 (飲食類調達費)

● 様子: 約1時間半にわたり、参加者同士の交流が深まり、大変有意義で楽しい時間を共有することができました。



"To acknowledge the duty that accompanies every right"

《参加報告》

第111回YMCA-Y's協議会

今城高之 記

日時：2026年9月1日（火）19:00-20:15

場所：横浜YMCA 606教室

出席者：佐竹総主事・各クラブ担当主事、
ワイズかながわ部各クラブ代表・役員

《会議概要》

開会礼拝・挨拶

●礼拝：松尾主事による聖書朗読（テサロニケの信徒への手紙5:16-18）と祈祷。

●挨拶：佐竹総主事（熊本被災地視察や防災について言及）／佐藤部長（協議会111回目を祝い更なる連携を祈念）。

協議

●第38回YVLF：9/5-7に高尾で開催。横浜Yから6名参加（青少年基金支援）。

●第29回チャリティーラン：10/1-15（Online/6チーム4個人）と10/17（リアル/45チーム申込済・継続募集中）開催。支援規模250万円想定。

●YMCAフェスタ：9/23に湘南とつかYMCAで開催

（テーマ「～もっとYMCA～」）。

●維持会員：かながわ部69名中20名が未納のため、納入促進を強化。

●東日本区大会報告：ユース代表・常田氏の体験報告を横浜クラブ例会等で予定。

報告

●日本語スピーチコンテスト：関内・厚木校の生徒10名（多国籍）が参加。

●第33回AIDS文化フォーラム：8/7-9開催、延べ2,288名参加。ボランティア減少への協力を要望。

●納涼会・部報：合同納涼会（47名参加）の報告、および部報第1号の刊行を報告。

●各クラブ報告：前回以降の活動および今後の予定を共有。

次回（第112回）：12月1日（火）19:00-20:30
（担当：大和クリエイティブYサービスクラブ）

《8月度クラブ事務例会報告》

今城 宏子 記

日時：2026年9月8日（火）17:35～18:45

会場：夢カフェ

出席：今城T・H、坂口、鮫嶋、鈴木K・S、森山

1. 会長挨拶

連絡が遅れたことをお詫び。八王子で開催されたYVLFに出席した際、東京YMCA所属のリーダーが中川の東京都市大学の学生であることが分かり、**You & Iコンサートにボランティアとして参加予定**という吉報があった。

2. 協議事項

（1）第14回You & Iコンサート

広報活動

神奈川新聞、タウンニュース（都筑：水谷先生、港北：森山）への広報を進めるほか、ポスティングを2,000枚予定。

チケット

クラブ参加メンバーに1,000円券を各10枚配布。「みんなの家」には500円券を100枚配布済み（5万円領収済み）。

当日の運営

ボランティアは11:00集合、各責任者は9:00集合。非常時指導員は森山担当主事、アーモンド、みんなの家から選任を依頼する。場内アナウンスは今城Hが担当。

打ち上げ会は鈴木Sがヴァンサンと交渉。ボランティアの昼食、崎陽軒「季節の弁当」30個を今城Hが予約。出演者11名へ

の謝礼（1人2万円）は坂口が担当し、演奏者へのプレゼント11個を今城Hが松岡さんに依頼する。

（2）9～10月の行事予定

9/23（水）YMCAフェスタ 10:00～14:30

@湘南とつかYMCA

9/25（金）クラブ本例会 17:30～19:00

@かけはし都筑

10/11（日）かながわ部大会 15:00～

@湘南とつかYMCA

10/13（火）クラブ事務例会 17:30～@夢カフェ

10/17（土）チャリラン 8:00～12:00

@臨港パーク

10/24（土）You & Iコンサート 14:00開演

@都筑公会堂

10/30（金）クラブ本例会 17:30～19:00

@かけはし都筑

（3）9月本例会

卓話は小林保氏（田園江田教会員）による「キリスト者としてのゴッホー南仏編」。

（4）埼玉ワイズメンズクラブ50周年記念会

クラブ本例会と日程が重なるため、今城T会長名で祝電を送る。